

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

北新潟地域づくり学会（はまなす学会）に
おける地域連携の実際

4.5

- 2 トピックス 年頭所感
- 3 視点 公民館活動の発表の場として学校を活用
- 3 ひろば 柏崎市の社会教育と雑感
- 6 実践記録シリーズ 雪国で培ったゆずり合う心・助け合う心「妙高市民の心」を受け継ぎ広めよう
- 7 サークル交流 みんなで楽しく！（新発田市）／ハーモニーで人の輪を広げよう（川口町）
- 7 素顔拝見 腰越 勝利さん（南魚沼市）／八藤後 卓也さん（神林村）



▲読み聞かせ教室

▼グランドゴルフ大会を終えて



粟島浦村公民館

表紙解説 粟島浦村社会教育活動の一環



新年あけまして おめでとうございませす



会長
三保恵美子

公民館は 還暦を迎えます。

新年あけましておめでとう
ございます。今年もよろしく
お願いします。

皆様にはどんなお正月だっ
たでしょうか。今年のキー
ワードは「還暦」？

「公民館60年」としきりに言
われている昨今、古い記録を
めくってみますと、この1、
2年は確かに60周年の記念す
べき年の到来のようです。文
部次官通牒「公民館の設置運
営について」(1946年7月)
以来、昭和22年(1947年)
頃から、全国各地に公民館が
次々と設置されました。

では、新潟県ではどうで
しょうか。新潟県史を紐解い
て見ますと「社会教育機関の
中心である公民館は22年以來
設置が促進され、27年3月に

県内の市町村全部に設置を完
了した。…略…公民館活
動としては、青年学級をはじ
めとする定期講座を中心に、

講習会、展示会、品評会、体
育会、映画上映、有線放送、
結婚式など多種多様であつ
た。」(新潟県史通史編9)と
記されています。今では考え
られない、様々な事業もあつ
たのですね。

本連合会事務局の調べによ
れば、県内の最初は小千谷市
(21年11月)、続いて旧高田市
(22年11月旧陸軍将校クラブ
併行社内)、十日町市(22年
11月寺院内)で、特に小千谷
市は全国でも早期に設置され
ています。金箱小千谷市公民
館長の話では、「当時公民館
の役割も定まらないまま、授
産所的なものでスタートし
た。」とのこと、それ以後、
公民館としての本来の役割を

果たす施設が設置されるよう
になるには、更に苦難の道が
あつたようです。

このように見ていきます
と、県内のほとんどの公民館
が今年から次々と60周年を迎
えます。当初は専門の建物も
なく、小学校の校舎を借りた
りして講座をやっていたよう
です。その後、補助金もあつ
て各地に立派な建物が建ち、
今ではそれらの老朽化が問題
になっており、まさに時代の
流れを感じます。ソフトの面
でも、創立当時と今とを比べ
ますと、社会状況の変化によ
り、その役割や事業のありか
たなど幾多の変遷があつたこ
とがわかります。その時々の
先輩公民館職員は常に自分達
の仕事をみつめ直してきたこ
とでしょう。その中で、唯一
変わらなかつたのは、地域住
民とのかかわり、一緒になつ

てよりよいまちづくり、地域
づくりをしようという姿勢と
情熱だつたと思います。
大きな市町村合併、財政難、
少子高齢化、国際化、地球温
暖化、予期せぬ災害など、そ
して公民館にもコミセン化、
指定管理者への動きなどが押
し寄せ、今、社会の情勢の大
きなうねりを見据えながら、
我々の住む地域の公民館は、
本当に住民にとって必要な公
民館になつているのか、どん
な役割を果たしていけばいい
のか、地域のみなさんと一緒
になつて、現状を見直し、あ
るべき姿を見出すことができます
する必要があります。

そんな大きな役割を持つ公
民館は大切だけれど地味な仕
事。だからこそ、「一月は正
月で酒が飲めるぞ…」なん
て言わないで、健康に気をつ
けて、仕事にはげみ、公民館
の必要性、職員の活躍を大い
にアピールしていきましょう。
この一年が、皆様のご活躍
により、輝かしい年になりま
すように祈念いたしております。

あけまして おめでとうございませす

昨年、いろいろとお世話になりました。
今年も県公振連及び県公連にとりまして、大変厳しい年となりそうですが、皆様方のご支援・ご
協力のほど、何分よろしくお願い申し上げます。

平成19年元旦 新潟県公民館振興市町村長連盟役員一同
新潟県公民館連合会役員一同

視点

公民館活動の発表の場として学校を活用



新発田市立赤谷小学校長 齊川 豊

私が勤務する赤谷小学校は、児童数12名の極小規模校である。地域は、過疎化、高齢化が進んでいるが、地域の方々はとても元気で、子どもたちを愛してくれている。そんな地域の中央にある赤谷地区公民館では、籠編みや書道、生け花、大正琴、カラオケ等のサークルが活動している。また、地域には水彩画や油絵に親しんでいる方もおられる。先日、文化祭では、各サークルのご協力を得て、児童作品とともに日ごろの成果を展示していただいた。しかし、聞くところによると、私が見た作品も他の皆さんに見ていただく機会が少ないという。そこで、子どもたちの情熱も高められるとも考え、学校の一階廊下を「赤谷ギャラリー」と名付け、展示コーナーを設置した。そして、各サークルには、順次展示できるよう出品をお願いした。鑑賞者は少ないかもしれないが、少しでも創作意欲につながればと願っている。

学校と公民館、地域住民が共に歩んでこそ学社融合、「やれるところからやってみよう」それが私の思いである。

H O T N E W S

掲 示 板

新潟県公民館振興市町村長連盟 平成18年度臨時役員会開催

- 1 日 時 平成18年12月26日 (火)
午後1時30分～2時50分
- 2 会 場 新潟市生涯学習センター
・オブザーバー出席
全国公民館振興市町村長連盟
岩佐正二郎事務局長様
- 3 議 事
第1号議案
平成18年度の事業並びに、平成18年度歳入歳出予算の執行状況について
(途中経過報告)
第2号議案
第58回新潟県公民館大会(村上大会)の共催について
第3号議案
新潟県公民館振興市町村長連盟の今後の組織・活動のあり方について
◎平成19年度総会に方向性を提案

柏崎市の社会教育と雑感

柏崎市社会教育委員 笹川 吉昭

市町村合併による行政区の再編や、少子高齢化など大きな時代環境の変化が進む中で、市町村における行政改革に併せて社会教育委員の減少など、社会教育をとりまく環境は厳しさを増しているように思われる。

私は社会教育委員3年目、社会教育委員就任の動機は、子ども達と地域で運動をやることになり、なにができるか、どのような支援体制があるのかが知りたかったことである。現在は週に2回、地域の中学生とソフトテニスをやり、地域の行事への参加、ボランティア活動に参加などで多忙の毎日を過ごしている。

現在、柏崎市は市内31カ



所のコミュニティ・センターが社会教育の拠点となっている。社会教育に関する市当局の支援体制も充実しており、社会教育委員も20名で編成している。活動は各「ミセン」を中心に特色ある教室、クラブ、同好会などが組まれている。一例をあげると、市民プラザを中心とする講座、教室等は200を越す登録がある。今後も、地域を中心とした活動に参加するとともに支援を図っていきたい。



表資料より

はまなす学会)における地域連携の実際

Ⅲ 評価と成果

1 公民館と大学との連携体制の確立

- 公民館と大学がコア(核)となって、地域の中にある様々な社会資源(ヒト・モノ・コト)をつなぐ基盤が確立した。
- 学生が自らも地域住民の一員であるとの意識の下で、地域との直接的な人間関係に責任をもつことが地域連携の推進力になっている。

2 学社連携の新たな仕組みづくり

- 地域課題の解決に向けた地域と学校との緩やかなネットワークが形成され定着しつつあること。
→「はまなす駅伝大会方式」
- 地域と学校との緩やかなネットワーキングの過程において、コアとなる「地区内の小・中学校」(7か校)の連携の仕組みが形成されたこと。

3 行政との協働の可能性

- 地域主体のコミュニティ交通の実現を目指す研究実践活動が、市行政の交通政策との戦略的な協議につながり、住民に身近な生活課題や地域課題の解決に向けた行政との協働の可能性が生まれている。

まれている。

4 地域住民との連帯の困難性

- 地域住民の主体的な参加と自由な創造を目指し、常に対等で緩やかな連携づくりに努め、一定の成果と関係者からの評価を受ける一方で、最も密接で直接的な関係をもつ地域住民との連帯が拡大・進展しないことに苦慮している。

Ⅳ 今後の課題

1 地域コミュニティとの連携

- 地域住民の新たな自治組織として政策的に形成された「地域コミュニティ」との連携をどう進めるか。
→地域住民との信頼関係の再形成

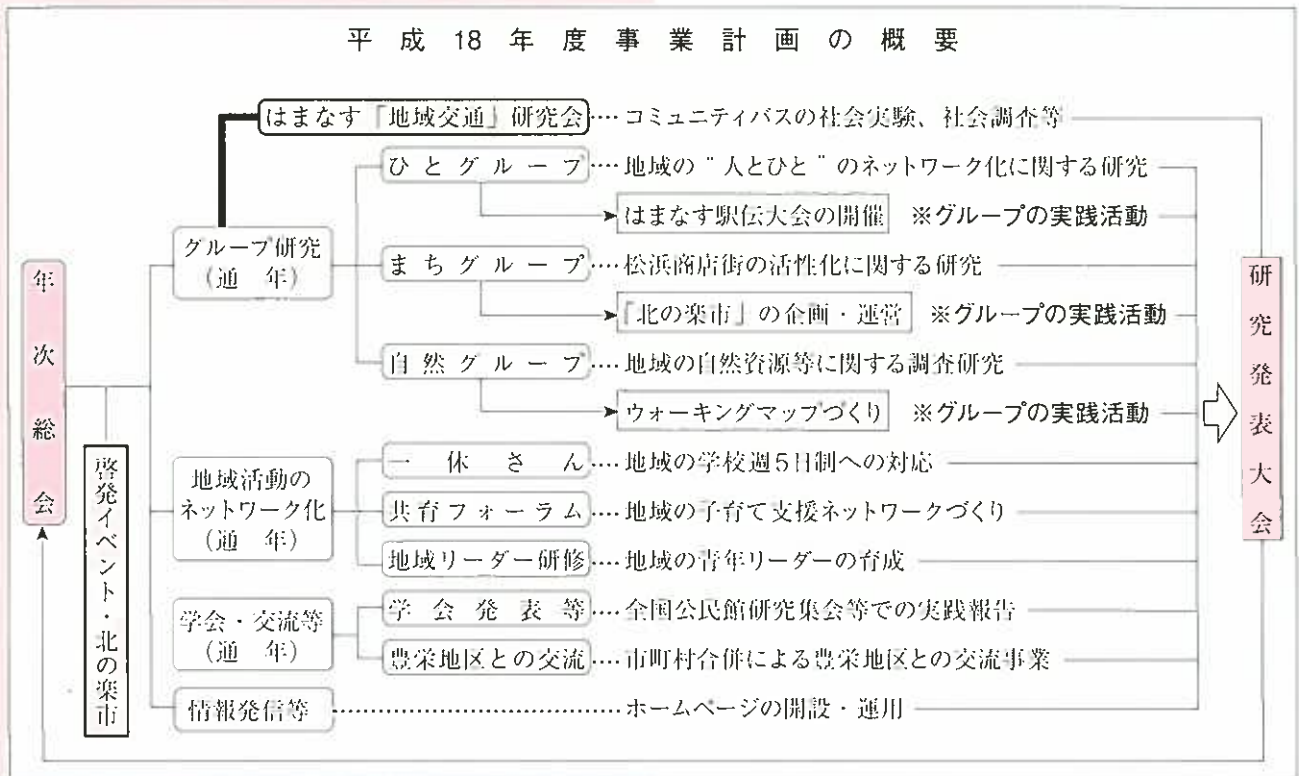
2 区自治協議会との連携

- 平成19年4月から施行する「区自治協議会」との連携をどう進めるか。
→区の政策立案プロセスへの参画

3 大学との連携

- 地域における「知の拠点」としての大学との連携をどう進めるか。
→地域再生に向けた新たなパートナーシップ

平成18年度事業計画の概要



特集

第29回全国公民館研究集会第5分科会「地域連携」発

北新潟地域づくり学会(はま)



新潟県新潟市はまなす
「地域交通」研究会
座長 丸田 秋男

(作成協力
NPO法人北新潟経済人会議)
副理事長 吉田 孝志

I はじめに

1 新潟市北地区の概要

北地区は、新潟市の阿賀野川以北に位置し、地区の北側は日本海、東側は新潟東港を挟んで聖籠町、南側は豊栄地区(旧豊栄市)に隣接している。

また、地区は日本有数の大河である阿賀野川の河口に開けた古くからの港町である「松浜」、半農半漁業の「南浜」、純農村の「濁川」の3地区から構成されている。地区の面積は30.82km、人口は28,420人(9,920世帯)であり、主な公共施設等は、次のとおりである。

施設等	か所数	内 訳
行政事務所	4か所	地区事務所1、連絡所2、保健福祉センター1
公民館等	6か所	公民館3、図書館1、図書館分館2
体育施設	4か所	体育館1、野球場1、球技場1、運動広場1
学校等	17か所	保育所7、幼稚園1、小学校4、中学校3、高校1、大学1

2 学会の概要

- (1)名称 北新潟地域づくり学会
(愛称「はまなす学会」)
- (2)会長 米林喜男
(新潟医療福祉大学社会福祉学部長)
- (3)会員 65人(平成18年7月1日現在)
- (4)事業 別図のとおり
- (5)事務局 新潟市北地区公民館
- (6)設立日 平成14年7月7日

3 設立の趣旨等

- (1)設立趣旨
- 心豊かに生き生きと暮らすことのできる「地域づくり」を目指す。
 - 地域に暮らす一人ひとりが、主体的に参加し自由に創造する「場」と「仕組み」を提供する。

- 地域の様々な課題に向き合い、「人」とのつながりを大切にした学習や実践のプロセスを継続的に支える。

(2)主な経緯

- 平成13年11月 公民館事業としての「地域学」の企画準備
- 平成14年3月 設立準備集会の開催
- 平成14年7月 設立総会の開催(毎年7月に年次総会を開催)
- 平成15年3月 第1回研究大会の開催(毎年3月に研究大会を開催)
- 平成15年12月 はまなす「地域交通」研究会の設置

II 活動の内容

1 事業の概要

(右ページ図参照)

2 はまなす「地域交通」研究会

(1)活動の目的

- 新潟市中心部と阿賀野川で分断されている「北地区」の地域特性に合致したコミュニティ交通の実現を目指す。
- 活動の背景要因としては、「赤字路線バスの廃止問題」「慢性的な交通渋滞を抱える交通事情」「高齢者の新たな交通問題の出現」等を重視する。
- キーワードは、「地域主体」「地域住民のニーズ本位」「地域と駅をつなぐ」「地域を巡回する」とする。

(2)主な活動内容

- 生活バス四日市、醍醐コミュニティバスの視察
- バス路線の検討に向けた試乗運行及び最寄り駅のJR利用者の実態調査の実施
- 地域住民の意識啓発に向けたフォーラムの開催
- 想定バス路線、運行時刻表、経費等の事業計画案の検討・作成
- 北地区内の関係自治会に対する事業計画案の提案・説明
- バス路線案の沿線住民に対するニーズ調査の実施
- 新潟市の政令指定都市移行に伴う「区バス」の導入等についての政策連携

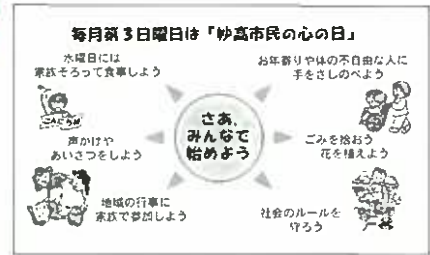
実践記録

106

シリーズ

雪国で培ったゆずり合う心・助け合う心「妙高市民の心」を受け継ぎ広めよう

妙高市公民館係長 望月 志伸



1 「妙高市民の心」推進事業の趣旨

この地に暮らすことに、心から幸せを実感できるまちを目指し、今年度から「妙高市民の心」推進事業を立ち上げました。

これは、家庭・地域・学校・職場が一体となって、思いやりや感謝の気持ちなど、この地に脈々と受け継がれてきた豊かな心を継承し、広める活動を市民運動として、全市民で取り組んでいこうとするものです。

2 事業の必要性及び背景

戦後の日本は、目覚ましい経済成長により、物質的な豊かさや便利さなどをもたらしてきました。その反面、「金・物」を重視する考えが中心になり、他人を思いやる気持ちなど「心」の豊かさを大切にすることが軽視されて、社会に歪をもたらしてきました。

そのため近年では、自己中心的な考えによるマナーの低下や、さらには親子間や家族間での痛ましい事件が発生しており、学校では「いじめ」が問題となっています。

こうしたことから将来私たちが、安心して生活していくという基盤すら揺らぎつつあります。

雪国妙高には、昔から近所と助け合ったり、道を譲り合ったりして、普段の生活の中に、「譲り合う心」や「助け合う心」が、確かに根付いていました。

今、私たちに必要なことは、この地域に受け継がれてきた「心」を思い起こし、「生命を尊ぶ心」「絆を大切にする心」「思いやりの心」などを育み広めていくことではないかと考えています。

そのためには、まず範となるべき大人が変わらなければ、その成果は上がりません。

この事業の趣旨を市民一人ひとりが十分理解し、協力して行動を起こすことが必要です。

3 本年度の取り組み

(1) 「妙高市の心の日」「家族そろって食事デー」

「妙高市民の心」の活動を市民の皆様から取り組んでいただくため、毎月第3日曜日を「妙高市民の心の日」、毎週水曜日を「家族そろって食事デー」と設定しました。

地縁社会が希薄化していると言われる昨今、「心の日」に、家族そろって地域の行事やボランティア活動に参加し、家族と地域の絆を深めるとともに、地域の教育力の向上を目指しています。

「家族そろって食事デー」は、各家庭で食事をしながら、家族で一日の出来事などを話し合うことで、家族の絆を深めていくことを目指し、学校の部活が休みの水曜日に設定しました。

(2) 6つの推進項目

具体的な推進項目として、次の6つを掲げています。

- ①水曜日には家族そろって食事をしよう
- ②声かけやあいさつをしよう
- ③地域の行事に家族で参加しよう
- ④社会のルールを守ろう
- ⑤ゴミを拾おう 花を植えよう
- ⑥お年寄りや体の不自由な人に手をさしのべよう

☆「妙高市民の心」カレンダーの作製・配布

全市民に啓発する手段として、「心の日」や「家族そろって食事デー」と、6つの行動目標を示した「妙高市民の心カレンダー」を作製しました。各家庭に掲示していただくため、小中学校から各学校行事や行政のイベントなどを載せ、また、子どもから募集した「あいさつ標語」の優秀作品と、作者の顔写真を載せました。これを小学校区毎に作製し、全戸に配布しました。

☆「妙高市民の心」推進検討委員会・推進実行委員会の設置

この事業を市民運動として発展させるため、各分野の代表からなる「妙高市民の心」推進検討委員会と実行委員会を立上げ、事業の方向性や進め方について検討いただきました。

☆「妙高市民の心」推進応援事業所の登録

検討委員会の中で、「一日の内の大部分を職場で過ごしているため、早く帰るには「事業所の協力が不可欠である。」と、ご意見をいただき、各事業所を訪問し、「ノ一残業デー」の設定や、地域の行事がある場合に、休暇を取りやすくする支援と、事業所としても環境美化などの奉仕活動をするなどお願いしました。また、「妙高市民の心」を心がけた取り組みを行ってもらうため、「妙高市民の心推進応援事業所」を募集し、応募いただいた事業所には、「妙高市民の心推進応援事業所登録認定証」を交付するとともに、毎月の広報で紹介しています。

☆「妙高市民の心」推進大会の開催

10月20日に、「妙高市民の心」推進大会を開催し、法隆寺管長の犬野玄妙氏を迎え、「聖徳太子の心～平和国家への道～」と題して、講演をいただきました。

4 今後の方向

この事業は、手探りの状況からスタートしたばかりであり、今は啓発活動を中心に行っています。結果が直ぐに表れにくい取り組みであり、粘り強く取り組まなければならないと考えています。

あらゆる機会をとおして「妙高市民の心」推進事業の趣旨を、伝えていきたいと考えています。

みんなで楽しく！

社交ダンス愛好家 ダンスサークル「ベル」

ダンスが何よりも大好きな数人が紫雲寺地区公民館に集い、今まで習得した技術を初心者者に伝えたい。一人でも踊る楽しさを知ってほしい。華やかな世界を覗いてほしい等の夢をいただき、会を発足して6年になります。いつ迄も鐘の音の響きのようにとの願いの如く、今では18名の会員が練習に励んでいます。年一回パーティーを開催したり、また、他のサークルのパーティーに参加し交流を深めています。



す。休憩時間のお茶タイムでは話も弾み、継続する栄養素にもなっています。無理をせず伸びた所を認め合い、今を楽しく生きる事がダンスを通しての共通の喜びですね。初心者大歓迎です。

新発田市「ベル」事務局

鈴木光子 記



ハーモニーで人の輪を広げよう

コーラス かわぐち

この合唱団は、平成元年に町の生涯学習の中の一グループとして誕生した。20代から70代までの団員は、中級程度の女声三部合唱に取り組み、年間三回の定期的な発表をし



ている。また、町の行事の音楽的な場面にも関わってきた。

中越地震の震源地になったために会員が被災し、家を失い家族を亡くした者もいる。その厳しさにも耐えて活動を続けてきた。全国の皆さんからご支援をいただいた。中でも、地震一周年の日に、宇都宮市のゴスベル合唱団の40名の皆さんと復興支援コンサートで共演し、町民と共に感動と勇気を与えていただいたことは、深く心に記されている。今後も、美しいハーモニーを求めて、活動を続けたい。

川口町 コーラスかわぐち 代表 金子ヒナ 記

塩沢地区館の朝は、女性職員Nさんの「ボケ」と、今回紹介するKくん「突っ込み」のNK(にっこり)掛け合い漫才から一日が始まります。

市内の駅伝大会では、役員と選手の両方とも手離さない欲張りでタフなスポーツマンです。仕事は、ウォームハート・クールヘッドで、テキパキした仕事っぷり。この間などは、電気代として職員1人300円集めたいと話



南魚沼市場沢生涯学習係 社会教育主事 腰越 勝利さん

があり、中越地震以来実施して来たクリスマスイルミネーションを今年も作りたいということでした。また、「地区館だより」の発行にも意欲を燃やしていて、積極的に地区館の雰囲気作りを心がけています。だれにでもいねいに助言するなど、地区館員の信頼も厚い彼ですが、自分自身のアピールも忘れないでほしいと思います。

(南魚沼市公民館塩沢地区館長 阿部 正夫 記)

素顔拝見

今年4月の人事異動で、今後の公民館活動を担う若手のエースとして配属された生涯学習課の社会教育係、八藤後卓也くんを紹介します。

本村には公民館がないため、生涯学習課(社会教育係、社会体育係)職員は、バルパーク総合体育館内で事務を執っています。その中でも彼は、写真を見ても分かるとおりに誰にでも好かれるタイプなんです。



神林村生涯学習課 主事補 八藤後 卓也さん

勤務後あっと言う間の6月には結婚し、来年5月には1児のパパとなります。平成18年は正に彼のための年だったにちがいません。1年目なのに予想どおりの企画力を発揮し、成人式ははじめ公民館活動を運営していることには驚きさえ感じます。これからも、元気のある明るい地域づくりに取り組もうと張り切っている彼であります。

(神林村生涯学習課長 佐藤 正幸 記)

この一冊で大抵大丈夫、公民館における「災害対策」ハンドブックが全公連より送付されて参りました。
サブタイトルは「避難所のよりよい運営のために」とあり、阪神・淡路大震災、中越大地震等での実際の対応から記述されているもので、実戦的な貴重な冊子です。
内容は、第1部日常の防災活動、第2部避難所としての対応マニュアル、第3部各種参考(書

恵贈資料紹介 公民館における災害対策ハンドブック

類)様式、第4部事例集、第5部資料編からの構成となっております。その他、さくいん、参考文獻



も巻末に記載されており、大変便利で使い易くなっております。
本県からは、震災での十日町市中央公民館、水害で三条市嵐南地区公民館から調査協力していただきました。
入手問合せ先
(社)全国公民館連合会事務局
〒105-10001
東京都港区虎ノ門1-6-12
東銀ビル3F
TEL 03-3550-1196

「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動

子どもたちの正しい生活リズムを、地域全体ではくめる社会をつくらう!

たいしな地域のコミュニケーション
健康なからたつり
志と体の安定!
創造力を育む
想像力・表現力を身につけよう!

「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動とは?
・楽しい朝! 朝ごはんを毎日
・生活リズムの重要性を再認識
・地域ぐるみで支えるための積極的関与
・子育て支援の充実を図る
・地域社会、学校、家庭が一体となり、心身ともに健康な子どもたちの育成をめざします。

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会
<http://www.hayanehayaoki.jp>

event information

平成19年1月の催物ご案内

鳥屋野湯の野鳥観察会

鳥屋野湯に飛来するマガモなどの野鳥を観察します。
日 時：1月28日(日) 午後1時30分～2時30分(悪天候中止)
会 場：県立自然科学館 屋上
料 金：入館料のみ

日本野鳥の会新潟県支部研究発表会

テーマ：「雪国新潟の鳥を訪ねて」
日 時：1月28日(日) 午前10時～12時
会 場：講堂
※一般の方もご入場いただけます(入館料のみ)

◆料金

項 目	小・中学生	大人
入 館 料	100円	550円
入館料+プラネタリウム観覧料	200円	750円

- 幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
- 20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

1月の休館日は、元日～3日(水)、9日(火)、15日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)です。
※毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)の定休日のほかに、設備点検整備等のための休館日があります。

県立自然科学館 電話 (025) 283-3331 FAX (025) 283-3336

2006年冬
プラネタリウム冬番組 No.97



放映期間 2006年12月2日(土)～2007年2月25日(日)

あ けましておめでとうございます。今年も何分よろしくお願ひ申し上げます。
昨年は、大過なく県公連事業を無事遂行できましたことを喜んでおります。

あ けましておめでとうございます。今年も何分よろしくお願ひ申し上げます。
昨年は、大過なく県公連事業を無事遂行できましたことを喜んでおります。